

● 地域提案型

平成23年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	マレーシア
2. 事業名	山仙式平窯炭化法によるバイオマス炭化技術研修事業
3. 事業の背景と必要性	マレーシアサバ州キナバタンガン川周辺に点在するパームオイル産業地域では、廃液による環境破壊が問題となっており、その改善策の一つとして活性炭による水の浄化が着目されている。山仙式平窯炭化法は安価にバイオマスを炭化することができるため、現地へ技術移転することにより廉価な活性炭の製造が可能となり、環境対策に貢献できる。
4. プロジェクト目標	山仙式平窯炭化法の普及によるキナバタンガン川周辺の環境改善
5. 対象地域	サバ州キナバタンガン川流域
6. 受益者層（人数規模）	パームオイル産業関係者並びに地域住民
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サバ州における活性炭製造用の廉価な炭化技術の習得 2. サバ州における持続可能な産業の創出 3. サバ州住民の環境意識の向上 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 八女市での技術移転センターでの技術指導の実施 2. マレーシアでの技術移転セミナー及び設備指導の実施 3. 八女市での地域住民との国際交流活動の実施
8. 実施期間	2012年6月～2015年3月
9. 事業費概算額	30,000千円
10. 事業の実施体制	バンブーテクノ社が実施する技術移転センターでの研修事業に対して、九州工業大学とマレーシアブトラ大学との連携でマレーシアの現地での対応を支援し、市は研修生の滞在期間中の生活や研修活動を支援する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	株式会社バンブーテクノ（福岡県八女市）
2. 対象国との関係、協力実績	八女市・バンブーテクノ社と協働で事業を展開している九州工業大学が、大学間交流協定校のマレーシアブトラ大学と2010年春からパームオイル産業からの廃液処理で協力関係を構築し、研究を進めている。